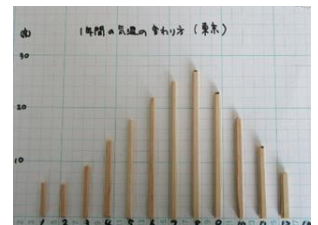
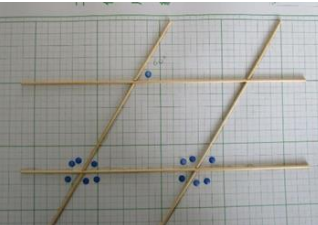
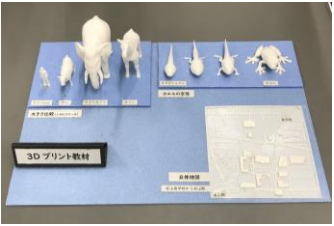


実践教材・教具紹介一覧表

愛媛県立松山盲学校

番号	教材・教具名	紹介メモ
①	日本の地形立体地図 	【小学部】 5年社会科で学習する日本の地形図を、触察教材として紙粘土で立体化した。山地、高地、川、火山の位置を児童と一緒に確認して作った。点図や一般の立体地図に比べて山の高さや川の長さ、位置など、より明確なイメージを持つことができた。
②	出島と唐人屋敷の立体地図 	【小学部】 6年社会科で学習する出島の形と、唐人屋敷との位置関係を把握しやすくするため、触地図を制作した。高さのある発泡スチロールと、触感の異なる片段ボールを用いたことで、出島の扇型や出島橋の細さ、唐人屋敷との位置関係などの理解が進んだ。
③	折れ線グラフ・棒グラフ 	【小学部】 3年算数科で学習する棒グラフ、4年算数科で学習する折れ線グラフを触察できるように作成した。手指に不器用さがあり点字、点図を読み取りにくい児童も、立体グラフを触ることで気温等の変化の仕方、最高・最低の気温を探ることができた。
④	垂直・対頂角・同位角の立体図 	【小学部】 4年算数科で学習する角の大きさと垂直、平行について触察できるように立体図を作成した。手指に不器用さがあるため、点字、点図を読み取りにくい児童も、立体図を触ることで角の大小や垂直を判別することができた。たこ糸、麻ひも、モールなどいろいろな材料で触り比べたが、直線としてしっかり固定できる竹ひごが一番分かりやすかった。図の中の丸シールは、市販のシールにメディウムを塗り触って分かるようにしたものを用いた。
⑤	雑巾掛け名人 	【中学部】 雑巾から手が離れたり、丸まったりすることを防ぐため、雑巾に軍手を縫い付けた。軍手に手を入れることで、両手を広げ正しい位置で雑巾掛けをすることができる。また、軍手等の手袋を着用する練習にもなる。
⑥	コップのふちおくん 	【中学部】 コップに注ぐ適量をオルゴールの音で知らせてくれる便利グッズである（商品名「お風呂ブザー」を改良したもの）。センサーをコップの縁に掛け、センサーが水に触れたときに生じるわずかな電流で、オルゴールが鳴る仕組みである。指定の水位になると音で知らせてくれるため、コップに飲み物を注ぎ過ぎることを防止できる。

⑦	ピッタリ電池 	【中学部】 適切な大きさの乾電池を選んで、正しい向きに装着するとオルゴールが鳴る仕組みである。単1～単5の5種類の乾電池に対応している。単3と単4の違いを理解することに役立つ。また、電池を装着する際、無理に押し込むと、プラス側のスプリング部分で電池を傷付けてしまうため、マイナス側の接点をスプリングに正しく押し当てながら入れる練習にもなる。
⑧	3Dプリント教材 	【高等部普通科】 3Dプリンターで作成した立体教材である。専用のソフトウェアを用いてデータを作成し、3Dプリンターで出力した。動物の模型を同縮尺で出力することで大きさが比較できる教材やオタマジャクシからカエルへの変態の過程を触察できる教材、学校周辺の地図、校舎の模型等がある。3Dプリンターを活用することで、市販されていない模型や立体教材を児童生徒の実態に合わせて自作できる。
⑨	革細工穴開け補助具 	【高等部普通科】 革細工を革抜きポンチで穴を開ける際に使用する補助具である。筒状の補助具と革材を挟んで固定する台を作成した。筒状の補助具にポンチを通して立てることで、容易に垂直を保てるようにした。また、台の天板には、穴とへこみを付けて、穴を開ける位置が触って分かるようにした。筒状の補助具と台を使用することで、全盲の生徒でも触って確認しながら位置を合わせ、革材にきれいな穴を開けることができる。
⑩	経穴触図 	【高等部理療科】 教科書の図を触図化したものである。触感の異なるフェルトを用いて、経穴（ツボ）を取る際に必要となる指標、関連する骨や筋肉を表現している。特に全盲生徒のイメージ形成に有効な教材である。また、骨や筋肉の配色を統一することで、弱視生徒が見やすいように工夫した。学習内容の該当経穴だけでなく、既習した経穴も記載することで、経穴間の位置関係等応用的な学習にも使用できるものとなっている。
⑪	生理学模型 	【高等部理療科】 呼吸時における肺の様子を観察することができる模型である。肺が入っている胸腔をシリンダーの中、肺をゴム手袋、横隔膜をピストンで表現している。特に呼吸時、胸腔内圧が外気圧より低くなることで肺が膨らむ様子を観察できる。全盲生徒もピストンを引く抵抗感の違いで、実際に肺が膨らんでいることを実感することができる作りになっている。文章ではイメージしにくい学習内容を理解することができ、生徒の意欲向上につながっている。

⑫	自主性貯金箱 	【寄宿舍】 男子棟に入舎している小学生から高等部理療科の成人生徒までを含めた計6名の児童生徒を対象に、自主性と社会性を養うことを目的とした教材である。自分の役割を果たした場合は「ごほうびコイン」を、友達の良い行動に気付いた場合はその児童生徒に「友達コイン」入れ、溜まったコインの枚数を山の高さに例えて表示する。今まで友達に関心がなかった児童生徒が友達の良さに気付いたり、自己肯定感が高まったりするなどの効果が見られた。
----------	---	--